

複数のサイボウズ製品におけるセキュリティ上の弱点(脆弱性)の注意喚起

IPA(独立行政法人情報処理推進機構、理事長:西垣 浩司)は、複数のサイボウズ製品におけるセキュリティ上の弱点(脆弱性)に関する注意喚起を、2010年4月20日に公表しました。

URL: <http://www.ipa.go.jp/about/press/20100420.html>

これは、複数のサイボウズ製品において、サイボウズ製品に登録した携帯電話以外から、その携帯電話になりすましてアクセスできてしまうというものです。この弱点が悪用されると、サイボウズ製品に保存されている個人情報が悪意あるユーザに漏えいしたり、書き換えられる可能性があります。

対策方法は「開発者が提供する対策済みバージョンに更新する」、または「開発者が提供する情報をもとに回避策を実施する」ことです。

1. 概要

サイボウズ株式会社が提供する「サイボウズ Office 7 ケータイ」、「サイボウズ ドットセールス」は、企業内での利用を想定したグループウェア等のソフトウェアです。

これら複数のサイボウズ製品には、登録した携帯電話以外から、その携帯電話になりすましてアクセスできてしまうセキュリティ上の弱点(脆弱性)があります。この弱点が悪用されると、サイボウズ製品に保存されている個人情報が悪意あるユーザに漏えいしたり、書き換えられる可能性があります。

脆弱性による影響が大きいことと、サイボウズ製品の普及状況から、この影響を受ける該当製品の利用者が国内に広く存在すると判断し、注意喚起を行いました。

詳細は、次の URL を参照して下さい。

<http://cybozu.co.jp/products/dl/notice/detail/0034.html>

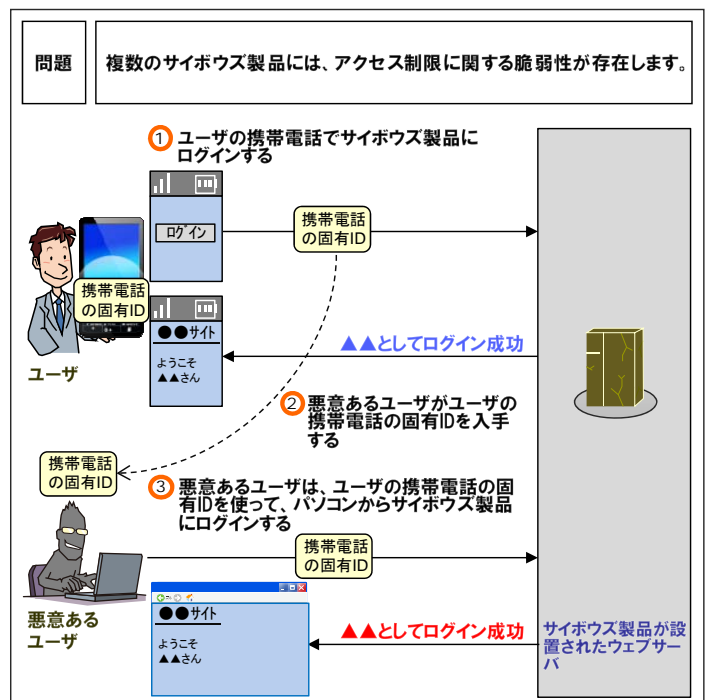
最新情報は、次の URL を参照下さい。

<http://jvndb.jvn.jp/jvndb/JVNDB-2010-000016>

本脆弱性情報は、情報セキュリティ早期警戒パートナーシップに基づき、2010年4月15日に IPA および JPCERT/CC が製品開発者自身から脆弱性および対策情報の連絡を受け、本日公表したものです。

2. 脆弱性による影響

サイボウズ製品に保存されている個人情報が悪意あるユーザに漏えいしたり、書き換えられてしまう可能性があります。



3. 対策方法

対策方法は「開発者が提供する対策済みバージョンに更新する」、または「開発者が提供する情報をもとに回避策を実施する」ことです。

4. 本脆弱性の深刻度¹

(1) 評価結果

本脆弱性の深刻度 (CVSS ² 基本値の範囲)	<input type="checkbox"/> レベルⅠ(注意) (0.0～3.9)	<input checked="" type="checkbox"/> レベルⅡ(警告) (4.0～6.9)	<input type="checkbox"/> レベルⅢ(危険) (7.0～10.0)
本脆弱性の CVSS 基本値		5.8	

(2) CVSS 基本値の評価内容

AV: 攻撃元区分	<input type="checkbox"/> ローカル	<input type="checkbox"/> 隣接	<input checked="" type="checkbox"/> ネットワーク
AC: 攻撃条件の複雑さ	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
Au: 攻撃前の認証要否	<input type="checkbox"/> 複数	<input type="checkbox"/> 単一	<input checked="" type="checkbox"/> 不要
C: 機密性への影響	<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> 部分的	<input type="checkbox"/> 全面的
I: 完全性への影響	<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> 部分的	<input type="checkbox"/> 全面的
A: 可用性への影響	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 部分的	<input type="checkbox"/> 全面的

■: 選択した評価結果

AV: Access Vector, AC: Access Complexity, Au: Authentication, C: Confidentiality Impact, I: Integrity Impact, A: Availability Impact

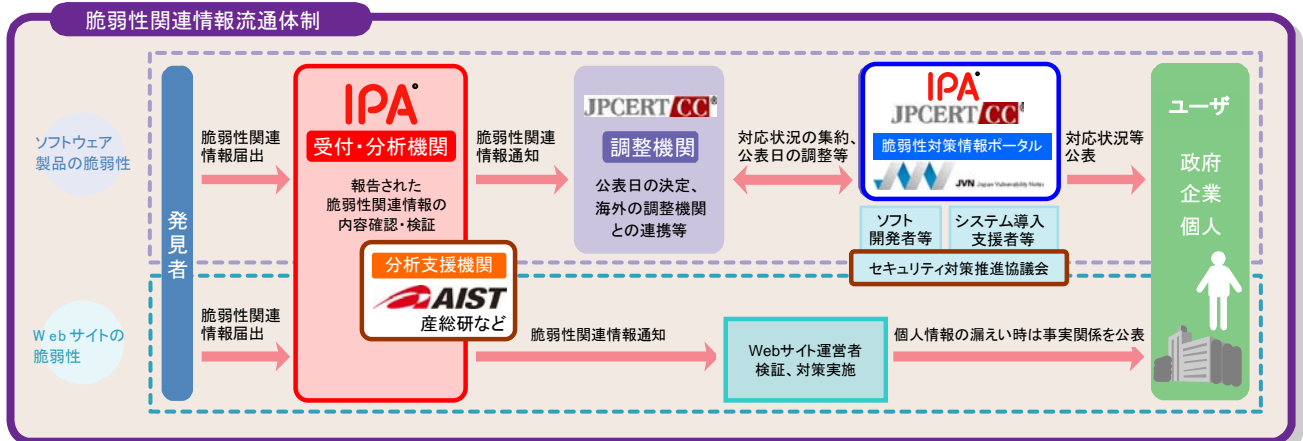
5. 本脆弱性のCWE³分類

本脆弱性のCWE分類は、「認可・権限・アクセス制御(CWE-264)」です。

6. 参考情報

(1) 「情報セキュリティ早期警戒パートナーシップ」について

ソフトウェア製品及びウェブサイトの脆弱性対策を促進し、コンピュータウイルスやコンピュータ不正アクセス等によって、不特定多数のコンピュータ(パソコン)に対して引き起こされる被害を予防するため、経済産業省の告示に基づき、官民の連携体制「情報セキュリティ早期警戒パートナーシップ」を整備し運用しています。



※JPCERT/CC: 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター、産総研: 独立行政法人 産業技術総合研究所

■ 本件に関するお問い合わせ先
 IPA セキュリティセンター 渡辺/大森
 Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518 E-mail: vuln-inq@ipa.go.jp
 ■ 報道関係からのお問い合わせ先
 IPA 戦略企画部広報グループ 横山/大海
 Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510 E-mail: pr-inq@ipa.go.jp

¹ 脆弱性の深刻度評価の新バージョン CVSS v2 への移行について。 <http://www.ipa.go.jp/security/vuln/SeverityLevel2.html>

² Common Vulnerability Scoring System. 共通脆弱性評価システム。 <http://www.ipa.go.jp/security/vuln/CVSS.html>

³ Common Weakness Enumeration. 共通脆弱性タイプ一覧。 <http://www.ipa.go.jp/security/vuln/CWE.html>